

～笑顔がつながる暮らし方の祭典～
「第3回エコビレッジ国際会議TOKYO」プログラム概要を発表
1月30日よりお得な前売りチケットの発売開始！

NPO法人ビーグッドカフェは、1月30日より「第3回エコビレッジ国際会議TOKYO」の前売りチケットをローソンチケットにて発売開始します。

エコビレッジをテーマとした国内唯一の国際会議、「エコビレッジ国際会議TOKYO」は、今回で第3回目を迎え、2009年4月24日(金)から26日(日)の3日間の日程で、東京・青山にて開催されます。海外からのスペシャルゲストの講演や、日本国内のゲストによる様々な取り組みの紹介に加え、音楽ライブ、上映会やワークショップなど、盛りだくさんの内容で実施します。また、今回初の試みである分科会では、「農業」「アート」「教育」「地域再生」などのテーマ別に、ゲストや関係団体が企画し開催。参加者を交えてのディスカッションも行ないます。

「エコビレッジ」というコミュニティモデルには、環境問題のみならず、食の安全、エネルギー、コミュニティの再生など、現代社会が直面する様々な問題に取り組む上でのヒントが詰まっており、近年、世界中で注目を集めています。本国際会議では、『「環境危機世紀 持続可能なコミュニティへの挑戦」～小さなアクションを大きなうねりへ～』を全体テーマに、ゲストと参加者、参加者間の交流を促進し、参加者が主体となって、より豊かで持続可能なライフスタイルを送るための具体的なヒントを得られる場になることを目的としています。

第3回エコビレッジ国際会議TOKYO 開催概要

名 称： 第3回エコビレッジ国際会議TOKYO The 3rd Ecovillage Conference Tokyo
URL: <http://begoodcafe.com/main/ecvc2009>
テーマ： 『環境危機世紀 持続可能なコミュニティへの挑戦』～小さなアクションから大きなうねりへ～
日 時： 2009年 4月24日(金)～26日(日)
会 場： 東京ウィメンズプラザ、国連大学 他 (東京都渋谷区)
来場者数： のべ1,000名程度 (第2回実績 450名/2日間)
主 催： NPO法人ビーグッドカフェ
共 催： NPO法人パーマカルチャー・センター・ジャパン(PCCJ)
協 賛： 東京建物株式会社、アマタ株式会社、エコプロダクツ2009
後 援： 環境省、国土交通省、国連人間居住計画、日本大学生物資源科学部 (予定)

参加者イメージ：

世界の「エコビレッジ」の動向を知りたい方／日本の実践例を知りたい方／エコビレッジを作りたい方、一緒に作る人を探している方／「環境問題」「農業」「地域再生」などのキーワードで国内外の人とつながりたい方／日本の農村再生や地域再生に関心がある方／持続可能なライフスタイルを模索している方 など

プログラム概要：

- 国内外のゲストによる講演
- 西欧/アジア/日本、都会型/田舎型など、多彩なエコビレッジ関係者を交えてのパネルディスカッション
- 「農業」「教育」「地域再生」「事業/起業」「アート」などエコビレッジの各要素を掘り下げる分科会
その他、音楽ライブ、ワークショップ、書籍販売/展示/交流エリアなど

チケット情報

1月30日10:00より、ローソンチケット[Lコード：33171]にて前売りチケット発売。
ローソン店頭端末Loppi、オンライン (<http://l-tike.com>)、電話(0570-000-777、24H音声ガイダンス)にて承り中。

<チケット価格>

【一般】 1日券 5,000円 (当日券 6,000円) / 3日通し券 12,000円 (当日券 14,000円)
【学生】 1日券 4,000円 (当日券 5,000円) / 3日通し券 10,000円 (当日券 12,000円)

※学生券は数に限りがありますので、お早めにお求めください。

※前売り券は4月22日までの販売となります。以降は、会場にて当日券をお求めください。

ゲストスピーカー・講演者について

イギリス、デンマーク、スリランカ、韓国からエコビレッジの先駆者達が来日！



ロス・ジャクソン (Ross Jackson) [デンマーク]

グローバルエコビレッジネットワーク (GEN) 共同創始者。デンマーク環境団体 ガイアトラスト会長。エコノミストであり国際的金融機関ガイアコープの会長を務めたのち、87年にガイアトラストを設立。サステナブルな社会づくりへの支援を始める。デンマークにおけるコーハウジング運動の先駆者であり、エコビレッジの世界的なネットワークづくりのためにGENの設立に寄与する。



ヒルダール・ジャクソン (Hildur Jackson) [デンマーク]

GEN及びガイアエデュケーション共同設立者。女性運動や自然分娩、有機農法、地域社会活動など幅広い草の根運動活動家。72年デンマーク初のコウハウジングコミュニティ創設者の一人。パーマカルチャーデザイナーの資格を持ち、ラジャヨガ瞑想の教師でもある。87年、夫のロスと共にガイアトラストを設立。93年以来、GENと共にデンマークエコビレッジネットワークの支援を進める。著書に「Ecovillage Living」等。



メイ・イースト (May East) [イギリス]

ブラジルの社会変革活動家、現在英国フィンドホーン在住。ガイアエデュケーション プログラムディレクター。30年に渡り、音楽、先住民、人間、女性、反核、環境、持続可能な定住運動などの分野で活動。1992年から英国スコットランドのエコビレッジ、フィンドホーンで生活を始める。2005年からスタートした「国連持続可能な開発のための教育の10年」の一環として、エコビレッジデザイン教育(EDE)の展開を精力的に進めている。



ヴィンヤ・S・アリアラトネ (Dr. Vinya Ariyaratne) [スリランカ]

1958年から半世紀に渡り持続的なコミュニティ発展のために活動を展開してきた、スリランカ最大級のNGO「サルボダヤ・シュラマダナ運動」専務理事。コロンボ大学で医学博士号、米国ジョンホプキンス大学で公衆衛生の修士号を取得。専門であるコミュニティ医療や熱帯医療の他、2004年のスマトラ沖地震被害以降の復興支援や、サルボダヤが1990年代からいち早く試行したコミュニティ開発におけるICT利用など、幅広い分野に渡る講演を多数実施。



リム・キョンス (Kyoungsoo Lim, Ph.D) [韓国]

社会貢献型企業「E-jang」の創設者であり、最高経営責任者。地域再生やエコビレッジ創設に関するコンサルティング事業を行う。その他、パーマカルチャー講師やソーシャルベンチャー向けアドバイザー業務など、幅広く活動。中央政府、地方自治体、農家、NGOなど多様な組織を巻き込み、社会起業家としてエコビレッジ事業を成功させた実績を持つ。

糸長浩司 (いとながこうじ)

日本大学生物資源科学部教授、工学博士、一級建築士、パーマカルチャー・センター・ジャパン(PCCJ)代表理事。東京工業大学大学院修了。住民参加、エコロジカルデザイン、自然建築、エコビレッジ研究をテーマに、学内や神奈川県藤野で実践的なプロジェクトも行っている。著書に「地球環境建築のすすめ」(共著、彰国社)等。

井上昭夫 (いのうえあきお)

天理大学教授、付属おやさと研究所長、国際文化学部・地域文化研究センター長。生態建築学に関心を持ち、NGO国境なき建築家機構(BWB)と共同で、難民人道自立支援シェルターを目的にアースバッグ(土嚢)による神戸アフガニスタン友好公園施設を構築、また地震被災地インド・グジャラート州においてボンガ(土嚢シェルター)を現地NGOらと協働建築。アフガニスタンでは、カブール大学と共同研究で将来アフガンに竹林造成を目指すプロジェクトを推進中。

辻信一 (つじしんいち)

明治学院大学国際学部教授。文化人類学者。NGOナマケモノ倶楽部の世話人を務める他、数々のNGOやNPOに参加しながら、「スロー」や「GNH」というコンセプトを軸に環境文化運動を進める。環境文化NGO・ナマケモノ倶楽部を母体として生まれた(有)スロー、(有)カフェスロー、スローウォーターカフェ(有)、(有) ゆっくり堂などのビジネスにも取り組む。著書多数。

ピーター・デイヴィッド・ピーダーセン (Peter David Pedersen)

株式会社イースクエア代表取締役社長。コペンハーゲン大学文化人類学部卒業。環境経営コンサルティングやニュースキャスターを務めた後、2000年9月、CSR・環境コンサルティングを手がける株式会社イースクエアを設立。300を超える日本企業・及び行政機関のCRSコンサルティングに携わる。

他、日本からの講演者多数。

※ ゲストスピーカー・講演者は変更される場合があります。ご了承ください。

プログラムについて

4月24日(金)

基調講演

- 「日本の農村危機と新たなうねり」 糸長浩司 (日本大学教授、PCCJ代表理事)
「未来型エコビレッジにおける経済のあり方」 ロス・ジャクソン (GEN共同創設者、ガイアトラスト会長)

ゲストスピーチ

- 「エコビレッジデザイン教育」 ヒルダー・ジャクソン(GEN及びガイアエデュケーション共同創設者)
「仏教思想とコミュニティアクション -スリランカ サルボダヤ運動」 V・S・アリアラトネ (サルボダヤ運動 専務理事)
「リローカリゼーションとスローライフ」 辻信一 (明治学院大学教授、ナマケモノ倶楽部 世話人)
「東アフリカのエコビレッジ運動 -土囊建築の現代的意義」 井上昭夫(天理大学教授、国連ユニタール特別上席顧問)
「本来経済とエコビレッジムーブメント」 ピーター・D・ピーダーセン (株式会社イースクエア代表取締役社長)

4月25日(土)

ゲストスピーチ

- 「韓国エコビレッジ企業によるコミュニティデザインとその展望」 リム・キョンス (株式会社E-jang 代表取締役社長)
「アジアにおけるエコビレッジの潮流」 海外ゲストらによるアジアの最新動向の紹介

分科会

- 「事業としてのエコビレッジ」 国内のコミュニティビジネス経営者による事例紹介及びパネルディスカッション
「いよいよ始まった日本型エコビレッジ」 日本各地のエコビレッジ実践者によるパネルディスカッション
「居住者大集合！ エコビレッジ生活の実践者達」 国内のエコビレッジ居住者によるパネルディスカッション

その他、上映会やアートワークショップ等を予定

4月26日(日)

ゲストスピーチ

- 「フィンドホーン -持続可能性のデザイン、40年の軌跡」 メイ・イースト (GEN理事、フィンドホーン財団)
「トランジションタウンの可能性」 榎本英剛 (トランジション・ジャパン共同創設者)

分科会

- 「木の花ファミリーの軌跡と展望」 古田偉佐美 (木の花ファミリー創設者)
「千葉鴨川と地域コミュニティ」 林良樹 (安房マナー発起人)、宮田武宏 (鴨川自然王国)、神澤則生 (トージバ)
フェアウェルディスカッション 3日間の総括を行うパネルディスカッション
その他、自然再生、里山、エコ建築、エネルギーなどの分科会を予定

※ プログラム内容は変更される場合があります。ご了承ください。

「エコビレッジ」とは：

食べ物、エネルギー、人と人の繋がりなど生活の各要素において、持続可能な解決策が包括的に実践されているコミュニティや地域。1998年には、UNHABITAT (国連人間居住計画) において「持続可能な100のモデル実践例」に挙げられ、05年にはUNITAR (国連訓練調査研究所) より「持続可能な開発のための教育プログラム (ESD)」としてエコビレッジデザイン教育が正式に認証されている。

<ご取材に関するお問合せ>

NPO法人ビーグッドカフェ 広報担当 片岡

TEL : 03-5773-0225 FAX : 03-5773-0226 E-mail : press@begoodcafe.com

<第3回エコビレッジ国際会議TOKYOへのご参加に関するお問合せ>

NPO法人ビーグッドカフェ エコビレッジ国際会議TOKYO担当 (坂本、代田)

TEL : 03-5773-0225 FAX : 03-5773-0226 E-mail : ecovillage@begoodcafe.com

NPO法人 BeGood Cafeとは

1999年、原宿のコミュニティカフェとしてスタート。「持続可能な社会と平和」「みんなでつながろう」をグランドテーマに、食・農・環境・教育、コミュニティ再生など各分野でトークイベントやワークショップなどを開催。近年は企業や自治体とも協力の輪を広げ、放置ミカン農園の再生を目指す「オレンジプロジェクト」や子供環境サマーキャンプ「クボタ地球小屋」など持続可能な社会の実現に向けたイベント実施、情報発信・共有活動を行なっています。

ウェブサイト : <http://begoodcafe.com/>

過去の国際会議の様子はこちらをご参照ください。 <http://begoodcafe.com/main/ecvc2009>

